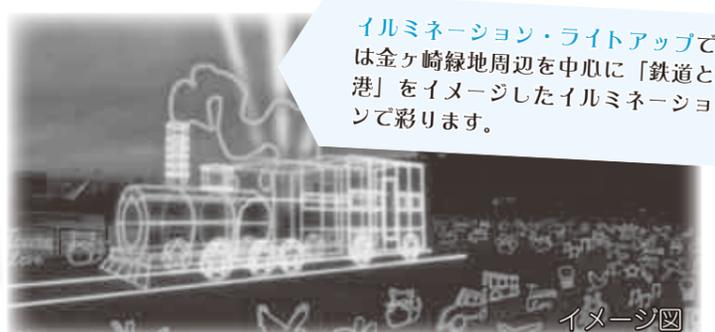


つるが「鉄道と港」フェスティバル

7月～10月の土日祝日等を中心に、とろろ流しと大花火大会や敦賀まつりなどの既存の大型イベントに合わせて開催します。「光」「食」「遊ぶ」「買う」をテーマにしたさまざまなイベントが盛りだくさんです！



イルミネーション・ライトアップでは金ヶ崎緑地周辺を中心に「鉄道と港」をイメージしたイルミネーションで彩ります。

イメージ図

イベント		7月	8月	9月	10月
つるが「鉄道と港」フェスティバル	オープニングセレモニー(点灯式)	7/20(金) ○			
	イルミネーション・ライトアップ (「光」の提供による敦賀の演出)	7/20(金) ●	8/19(日) ●	9/1(土)～4(火) ●	
	鉄道浪漫の「食」 (「食」の提供による敦賀の演出)	7/21(土) ●	8/16(木) ●	9/1(土)～4(火) ●	
	テーマパーク・遊園地 (「遊ぶ」の提供による敦賀の演出)	7/21(土) ●		9/4(火) ●	10/27(土)・28(日) ●
	アウトレットモール・フリーマーケット (「買う」の提供による敦賀の演出)	7/21(土) ●		9/4(火) ●	10/27(土)・28(日) ●

詳しいイベント内容については、ホームページなどで随時お知らせします。

☎ <http://www.tsuruga.or.jp/tetsudo130/index.html>

平成23年度

新商品チャレンジ事業の認定商品が完成!!

敦賀ー長浜間鉄道開通130周年などの節目の年を記念し「鉄道と港のまち つるが」に絡めた新商品やパッケージ開発を行う事業者を支援いたしました！こちらは、平成23年度の認定商品です。

絆・幸せのルガラー

(有)小堀菓舗

ユダヤ人の伝統菓子ルガラーとりんごのトッピング焼き菓子。世界大戦時、来敦したユダヤ人難民に市民がりんごを無償で提供したという人道的エピソードをもとに作成した。



みなと茶町(レトロモダン茶箱)

(株)お茶の清香園

ワンカップ用の日本茶ティーパックを、オリジナル茶箱に詰めて発売。港町敦賀とお茶の歴史をアピール。



敦賀鉄道の夜明け130年記念ワイン

鉄道記念ロゴを使用したオリジナルワイン。大野産のブドウを使用して製造したワイン、ジュース。



(有)かたやま酒店

つるが冷凍みかん～懐かしき昭和の旅～

列車の旅のお供だった冷凍みかんを、地元東浦みかんを使い開発。



敦賀合同青果(株)

敦賀鉄道の夜明け130周年！記念弁当

(株)塩荘



敦賀を走ったSLの資料などがついた記念弁当。特に鉄道ファンや、駅弁ファンには大好評!!

完全焙煎(鉄道バージョン)

(有)チモトコーヒー

欧亜国際列車が活躍した時代の金ヶ崎棧橋と税関の風景のオリジナルシールを完全焙煎のコーヒー豆ギフトのパッケージや、珈琲パックの包装に使用。



敦賀 鉄道の夜明け130年!

つるが「鉄道と港」フェスティバル



明治41年頃の敦賀港全景

鉄道と港のまち敦賀

明治維新後新政府は、日本海側の重要拠点であった敦賀港に着目し、明治15年、日本海側で初めて鉄道が敷設され、敦賀ー長浜間の運行が始まりました。初代敦賀駅は、氣比神宮の近くに開設され、敦賀の鉄道の歴史が始まりました。鉄道の開通により、明治35年敦賀港に敦賀ーウラジオストク定期航路が開設。同40年には横浜、神戸、関門とともに第1種重要港湾に指定され日本海側屈指の国際貿易港となりました。同45年には新橋ー金ヶ崎間の「欧亜国際連絡列車」の運転が開始され、多くの人が敦賀からヨーロッパに向けて立ちました。鉄道開通から130年さまざまな変遷を経て、敦賀市は鉄道と港と共に発展してきました。昨年には、北陸新幹線の敦賀延伸に関する整備方針が決定されるとともに、敦賀港が日本海側拠点港の指定を受けるなど、現在敦賀市は、その発展を支えてきた鉄道と港の新たな節目の時を迎えています。今後、鉄道と港を切り所とした、交通の要衝としての一層の発展(飛躍)が期待されます。

今年には敦賀市にとって、敦賀ー長浜間鉄道開通130周年、敦賀ーウラジオストク定期航路開設110周年、欧亜国際連絡列車運行100周年となり「鉄道と港」の記念の年となります。

アニバーサリーイヤーを迎えて

昨年12月に設立した「敦賀・鉄道と港」まちづくり実行委員会では、今年を「敦賀「鉄道と港」の記念の年」と位置づけ、さまざまなイベントを行っている団体と連携し、鉄道開通記念の統一テーマの下、年間を通じて一体感のあるまちづくり活動を行います。更に7月20日からメインイベントとして「つるが「鉄道と港」フェスティバル」を開催します。イベント情報については左のページ上段をご覧ください。詳しい内容については、ホームページなどで随時お知らせいたします。皆さんのお越しをお待ちしています。



大正末期の金ヶ崎緑地